

平成23年度第3回キッズ・モニターアンケートの実施報告について

「新しい県立博物館」についてキッズ・モニターアンケートを実施したところ、その結果は、下記のとおりでした。アンケートにご協力いただいたキッズ・モニターのみなさまにお礼を申し上げます。

アンケート概要

1 アンケート実施期間

平成23年9月20日から平成23年10月2日まで

2 意見募集の結果

- ・対象者数 288人
- ・回答者数及び回答率 159人(55.2%)

アンケート結果について

Q1 あなたの年代についてお聞きします。

アンケート回答者の属性は、小学生87人(54.7%)、中学生52人(32.7%)、高校生20人(12.6%)でした。

Q2 新しい県立博物館をつくっていることを知っていましたか？

新しい県立博物館をつくることを知っていたのは76人(47.8%)であり、83人(52.2%)は、今回初めて知りました。

属性別に内訳を見ると、

- ・小学生87人：知っていた35人(40.2%)、知らなかった52人(59.8%)
 - ・中学生52人：知っていた28人(53.8%)、知らなかった24人(46.2%)
 - ・高校生20人：知っていた13人(65.0%)、知らなかった7人(35.0%)
- となりました。小・中・高と学校があがるほど認知度が高くなっています。

また、地域別には、

- ・桑名県民センター管内(桑名市、いなべ市、木曾岬町、東員町)
知っていた7人(31.8%)、知らなかった15人(68.2%)
- ・四日市県民センター管内(四日市市、菰野町、朝日町、川越町)
知っていた14人(48.3%)、知らなかった15人(51.7%)
- ・鈴鹿県民センター管内(鈴鹿市、亀山市)
知っていた6人(42.9%)、知らなかった8人(57.1%)
- ・津県民センター管内(津市)
知っていた23人(76.7%)、知らなかった7人(23.3%)
- ・松阪県民センター管内(松阪市、明和町、多気町、大台町)
知っていた10人(52.6%)、知らなかった9人(47.4%)
- ・伊勢県民センター管内(伊勢市、鳥羽市、志摩市、玉城町、度会町、大紀町、南伊勢町)
知っていた10人(40.0%)、知らなかった15人(60.0%)

- ・ 伊賀県民センター管内（名張市、伊賀市）
知っていた 5人（33.3%）、知らなかった10人（66.7%）
- ・ 尾鷲県民センター管内（尾鷲市、紀北町）
知っていた 0人（0.0%）、知らなかった 4人（100.0%）
- ・ 熊野県民センター管内（熊野市、御浜町、紀宝町）
知っていた 1人（100.0%）、知らなかった 0人（0.0%）

となりました。新県立博物館に近い中勢地域に比べて、それ以外の地域での認知度が低くなっています。

Q3 新しい博物館では、三重の自然と歴史・文化をテーマにすることにしています。どのテーマに関心がありますか？（複数回答可）

「自然」が97人（39.4%）、「歴史」が80人（32.5%）、「人々の暮らし」が45人（18.3%）となりました。

いずれも新県立博物館で取り扱うテーマですが、各テーマに平均的に興味があることが分かります。

Q4 新しい博物館を、何度でも行ってみたいと思えるような博物館にするためにはどんなことが大切か、についてお聞きします。「行くたびに内容がかわっているような展示（展覧会）」をやっていれば、何度でも行ってみたいと思いますか。

「展示がかわっていれば、行ってみたい」が102人（64.2%）と最も多く、一方で「展示がかわっていても、行ってみたいと思わない」は11人（6.9%）と少数でした。

新県立博物館では、大小さまざまな展示室を利用していろいろな展示をすることとしており、来るたびに新しい発見がある展示を目指しています。

Q5 「実際にさわったり体験したりできる展示」があれば、新しい博物館に行ってみたくと思いますか。

「行ってみたい」が136人（85.5%）となり、体験型の展示に大変興味があることが分かります。

新県立博物館では、「こども体験展示室」や「三重の実物図鑑ルーム」を設け、実際にさわったり体験できる展示を行うこととしています。

Q6 「みんなが交流したり、調べものをしたりするスペース」があれば、新しい博物館に行ってみたくと思いますか。

「行ってみたい」が101人（63.5%）となり、自由に交流できるスペースに興味があることが分かります。

新県立博物館では、「交流創造エリア」を設け、学習や交流をするスペースや、博物館の資料や図書について調べることができるコーナーなどを設けることとしています。

Q7 「屋外の広場での昆虫や植物の観察会など、体験するイベント」があれば、新しい博物館に行ってみたいと思いますか。

「行ってみたい」が107人(67.3%)となり、体験型の行事に興味があることが分かります。

新県立博物館では、屋外のミュージアムフィールドに「交流の広場」「野外学習スペース」「里山」などを設けており、散策ができたり、野外イベントや観察会などを行うこととしています。

Q8 「県内での移動展示や学校での出張授業など、博物館がみなさんの近くに来る機会」があれば、参加してみたいと思いますか。

「参加したい」が107人(67.3%)となり、博物館を飛び出した活動にニーズがあることが分かります。

現在、県立博物館では、博物館が持っている資料を持ち出して県内各市町で展示を行ったり、学校での出張授業などを行っており、新県立博物館でも実施する方向で検討しています。

なお、今年度の冬の移動展示は、「くらしの道具 いま・むかし」をテーマに、来年1月21日から2月26日まで伊勢市の小俣図書館で行う予定です。

Q9 休けいしたり、おみやげを買ったりするスペースが充実していたら、新しい博物館に行ってみたいと思いますか。あてはまるものを選んでください。

「行ってみたい」が136人(85.5%)となり、休けいやお土産を買うスペースの充実を重視していることが分かります。

新県立博物館では、館内に飲食・休憩スペースやミュージアムショップを設けるほか、屋外のミュージアムフィールドにおいても自由に休けいできるスペースを設けることとしています。

Q10 新しい博物館に行くまでの交通(アクセス)が便利であれば、新しい博物館に行ってみたいと思いますか。あてはまるものを選んでください。

「交通が便利でなくても、内容が面白ければ行ってみたい」が64人(40.3%)、「交通が便利であれば、行ってみたい」が72人(45.3%)と、ほぼ同じとなりました。一方で、「交通が便利であっても、行ってみたいとは思わない」は7人(4.4%)と少数でした。

新県立博物館では、展示や活動の内容充実を図るとともに、交通アクセスの充実についても検討していくこととしています。

Q11 学校の遠足や社会見学で新しい博物館に行ってみたいと思いますか。

「行ってみたい」が111人(69.8%)となりました。

新県立博物館では、遠足や社会見学を通じて、県内の小学生が必ず一度は新県立博物館に来てもらえるよう、県内の学校に働きかけを行っていくこととしています。

Q12 「こんな博物館になったらいいな、こんなことができたらいいな」ということがあれば自由に書いてください。(自由回答)

特に、「実際に体験できるもの」「気軽に使える自由なスペース」「子どもでも分かりやすい説明(ガイド)」について多数のご意見をいただきました。

まとめ

アンケートの結果をまとめると、次のようになりました。

- ・ 新県立博物館の認知度については、中学生・高校生に比べて小学生が低く、小学生に対して特に周知を図っていくことが課題となっています。
- ・ また、新県立博物館に近い中勢地域の認知度に比べて、それ以外の地域での認知度向上が課題となっています。
- ・ 「実際にさわったり体験できる展示」や「交流スペースの充実」など、新県立博物館が行おうとしている取組については、概ね賛成意見を多くいただいています。

新県立博物館が行う取組について、引き続き、学校への案内や各種メディアへの周知を通じて広報を行うとともに、皆さんからいただいた意見を参考にしながら、新県立博物館での活動の方針やしくみづくりを行っていきます。

キッズ・モニターのみなさん、アンケートに回答していただき、ありがとうございました。